

須磨水族園が建て替えられます。海浜公園も大きく変わります。

開園から30年以上経過しました水族園は思い切って民間の力を導入し、シャチやイルカのパフォーマンスを核に楽しめる水族園として生まれ変わります。同時に海浜公園も一体的に整備し、歴史ある松林を育てながら、子育て世代が親子で楽しめる、にぎわいのある施設やレストラン、カフェ等が作られます。7階建て80室を備えた宿泊施設も併設されます。1,110台収容できる駐車場も整備します。

地域住民の憩いの場と、観光客が楽しめる都市型リゾートとをそなえた水族園に生まれ変わるのを期待しながら、整備事業を見守りましょう。おおむね2024年春ごろの供用開始の予定です。

須磨海浜水族園・海浜公園再整備事業で採用された提案書の概要です。（神戸市会委員会資料より）

須磨海浜水族園・海浜公園再整備事業 提案書(公募設置等計画)の概要

<コンセプト>
「つながる」海浜リゾートパーク
神戸須磨
Parks + Resorts

① 園地・にぎわい施設 2023年8月供用開始予定
歴史ある松林を保全・活用・育直し、
魅力ある水辺空間を創出した市民の憩いの場を「海浜リゾートパーク」の創設

② 水族館 2024年2月水開館開始予定
「つながる」エデュテイメント水族館
区域面積: 25,261㎡ 延床面積: 22,271㎡
展示: 14,820㎡

③ 宿泊施設 2024年2月水開館開始予定
海への旅に似せながら「温かい」宿泊施設
- 階建て: 60階 延床面積: 7,312㎡
- 全室オーシャンビュー
- トルファンラウンジ併設(日本初)

④ 駐車場 2023年5月供用開始予定
立体駐車場A: 716台 延床面積: 15,719㎡
平面駐車場: 344台
年間訪客数: 50万人
台数: 1,110台

神戸市の行政組織が大きく移転・変わりました。

この度、三宮地区周辺の再整備事業がはじまりました。それに伴い行政組織が移転しました。移転した局と移転先は次のとおりです。

- 経済環境局・都市局都心再整備本部 → 三宮ビル東館（中央区御幸通6-1-12）
- 都市局・建築住宅局 → 三宮国際ビル（中央区浜辺通2-1-30）
- 港湾局（海務課を除く） → ポートアイランドビル（中央区港島中町4-1-1）
- 建設局（道路部・湾岸広域幹線道路本部・公園部・下水道部） → コンコルディア神戸（中央区磯辺通3-1-7）
- 建設局（コンコルディア入居部局を除く）・港湾局海務課 →



- 神戸商工貿易センタービル（中央区浜辺通5-1-14）
- 環境局 →
- 三ノ宮プラザEAST（中央区磯上通7-1-5）
- 交通局 →
- 御崎Uビル（兵庫区御崎町1-2-1）
- 教育委員会事務局 →
- ハーバーランドセンタービル（中央区東川崎町1-3-3）

神戸市議員
ひらの
平野たつじ
市会だより
令和2年

— 神戸市会報告 —
発行所
自由民主党神戸市議員団
神戸市中央区加納町6丁目5-1
電話 331-8181 内線 7060

ごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましてはご健勝にて新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。さて、昨年春の神戸市議員選挙では皆様の温かいご支援とご厚情のおかげで初めての当選をさせていただきました。心から感謝お礼申し上げます。市会議員として皆様のご負託にお応えべく、日夜活動を続けています。昨年は未曾有の災害に襲われ、多くの人命が失われ、広範囲にわたって多大な被害もたらされました。亡くなった方々のご冥福と被害にあわれた皆様にお見舞い申し上げます。これからもいづれどこで災害に遭うかわかりません。神戸の街も「安心・安全で、防災・防犯意識の高い街づくりに」向かって一層の努力をいたします。



一昨年春22年間お世話になった会社を退職し、政治の道を歩むこととなりました。多くの皆様や引退した父の助言を受けながら、皆様との接点を求めて夏祭りや盆踊り、餅つき大会などの地域の行事や各種団体の定例会合などに積極的に参加いたしました。「地域の皆さんとともに」そして「地域の皆さんの生の声を聞いて」を私の政治活動の原点に頑張っております。

一方議会では、最大会派である自民党会派に所属し、常任委員会は「都市防災委員会」、特別委員会では「大都市行財政制度に関する特別委員会」の委員として積極的に発言をしています。

議員として最初の市会（令和元年第一回定例会）では、自民党会派を代表して早速、本会議（7月2日）の代表質問に立ちました。質疑の要旨については別記に報告します。



令和元年7月2日の本会議にて

また、その後の決算特別委員会では、神戸市政の方向を決める「企画調整局」の審議で会派を代表し質疑しました。質疑の要旨は別記に報告します。

選挙では皆さんに、どういう姿勢でどんな政策を進めるのかなどの選挙公約をお示しして皆さんの審判を仰ぎましたが、今回の代表質問も私が約束した内容に沿って進めました。

今後とも皆さんの生の声をうかがいながら、神戸市政に何を求めておられるのかなど、しっかりと受け止め、議員としての責務を果たしてまいります。ご支援・ご指導のほど、よろしくお願いいたします。

本年も皆様にとって良い年でありますよう、お祈り申し上げます。

令和2年 元旦 平野 達司

第一回定例市会質疑要旨

今春4月7日の神戸市議会議員選挙で初当選後の第一回定例市会で、自民党を代表し、市会本会議場で市長はじめ当局に質問をいたしました。(令和元年7月2日)

質問内容は6項目ありましたが、紙面の関係から次の3項目について報告します。質疑要旨は次のとおりです。

医療産業都市の発展による人口減少対策について

Q 神戸市の人口は川崎市に抜かれ、政令市7番目、市場・商店街は空き店、閉店が目立ち地場産業等疲弊している。復興の中核を担う医療産業都市構想が進むなかで、企業の誘致や更なる雇用が期待できるのか。

A 人口減少を食い止めるにはあらゆる政策を総動員することが必要。神戸市の強みであるものづくり産業の活性化、比較的弱い都市型創造産業の集積を図る。医療産業は人口減少対策として大変有効。本年6月の時点では355社、3月時点の雇用者数は約1万1千名、着実に伸びている。さらなる企業の誘致、雇用の拡大に努める。

Q 今の医療産業は、研究が中心。製薬や、医療機器のメーカーの誘致に力を。具体的に目指す誘致企業数、雇用数の目標は。

A 神戸健康科学振興ビジョンでは、令和7年度の時点で進出企業数は552社、雇用者数は1万7,157名と見込んでいる。今後もビジョンを上回る努力をする。



ICT推進による市場、商店街の活性化について

Q キャッシュレス化によって市場、商店街を利用しなかった若者世代や、インバウンドに利用促進が図れる。キャッシュレス対応の機器の補助制度が市場、商店街にどの程度寄与したか。効果検証は。

A 市場、商店街はキャッシュレスに対応することで若者世代や、国内外の観光客の取込み、利便性の向上、回遊性の向上、事業者の業務効率化に期待できる。本年10月の消費税の引き上げに伴い決済時に5ポイント還元制度が実施されることからキャッシュレス決済導入への取り組みが必要。市として補助制度を拡大し、導入が進むよう働きかけている。



本議会上で

Q 決済でQRコード決済、スマホ決済が多いが、事業者が期間限定で手数料を無料にしている。期間が過ぎればこの手数料が市場、商店街の負担となる。支援策は。

A 市として市場、商店街の売り上げ向上のため、どのような施策が必要か、また可能かについて検討する。

UDタクシーについて(今回の質疑により補正予算がつきました)

Q 国では移動など円滑にするためUDタクシーを含む福祉タクシーの整備目標を2万8千台から4万4千台に引き上げた。神戸市として車いすや障害を抱えた人、妊婦さんや大きな荷物を持った観光客などが乗りやすいUDタクシーを増やすべきではないか。補助制度を設け、タクシーの導入支援をすべきではないか。



A UDタクシーは乗降口が大きく、車内空間も広く、車いすの方が横からでも乗れる。また高齢者やベビーカー利用の親子連れ、妊娠中の方、大きな荷物を持った観光客が利用しやすい。2021年に世界パラ陸上選手権大会も開かれることもあり、導入支援策について迅速に検討する。

Q 市長、UDタクシーに乗られたことは。

A 見たことはあるが乗ったことはない。

Q 神戸市では56台しかない。全国では1万2,794台、東京では7,154台。

A 56台は少ない。もっと増えていかないとと思う。

あとの質問の3項目は紙面の関係から割愛しました。神戸市会のHPにて録画中継を見ていただければ幸いです。

1、自動運転のさらなる推進について 2、働き方改革について 3、高齢者の免許の取り扱いについて

第二回定例市会決算特別委員会 企画調整局審議質疑要旨

令和元年第二回定例市会(9月市会)での決算特別委員会 企画調整局審議(9月30日)で自民党会派を代表し、質問をいたしました。

神戸2020ビジョンについて

Q 神戸市の都市戦略として、今年度はイノベーション神戸やBe Smart KOBEを企画、立案されたが市民や企業にどう浸透させるのか。

A 神戸の2020年ビジョンは若者に選ばれる街、誰もが活躍する街を大きなテーマとしている。神戸に来れば、神戸に住めば新しいことにチャレンジできる、ワクワクできる、そういった先駆的な、開拓精神にあふれ、チャレンジできる街としてのイメージを発信したい。

Q 都市ビジョンを提示して、企業誘致、スタートアップ、都市型産業を育成し企業が企業を呼ぶ仕組みが必要と思うがどうか。

A スマートシティの実現に向け、Be Smart KOBEの公募を行う。幅広く提案を求める。

Q 国会で審議されているスーパーシティ構想の神戸版として先駆的な構想として評価する。

兵庫運河の整備について

Q JR和田岬線の和田岬旋回橋の南でプロムナードが分断されている。この解消について。

A いろいろな案を検討しているが効果的な案はない。プロムナードのネットワーク化は兵庫運河周辺の集客拠点として重要。費用対効果を考え、あらゆる可能性を関係局と連携して検討する。

地元の要望として、日本遺産に認定された兵庫津に北前船を誘致できるように、神戸市と兵庫県とが連携、調整をしていただきたい。

介護ロボットの開発支援について

Q 介護分野は人材不足が慢性化しており、介護事業者は運営上支障をきたしている。現場の介護ニーズを把握したうえで、介護ロボットの開発支援を進められたい。

A 平成27年から介護リハビリロボットに着目、開発支援を行っている。国は開発重点分野として、移乗支援、排せつ支援、見守りやコミュニケーションなど6つの分野を指定。市として機械・金属工業会などの団体や市内中小企業に介護リハビリロボットの分野への参入を支援した。1つでも多くの製品が生み出せるよう支援する。

Q 人材不足になって絶対に必要な分野は、1つは排せつケアロボット。下のお世話は人にしてもらいたくない。感情がないロボットに。2つは人手不足で介護の方たちとの会話が途絶えたとき、感情がわかる安らぎのロボットに対応できれば。この2つの分野に力を入れ、支援すべきと思うがいかが。

A 排せつケアロボットや感情がわかるロボットの必要性は認識している。この開発に取り組んでいる企業は市内にない。全国的に目を向け、そうした技術を持った企業の誘致も含め、市内中小企業の取り組みに支援をする。

その他、働き方改革について突っ込んだ質問をいたしました。情報化推進によって職員の皆さんの働き方はおおきく変わる。ペーパーレス化でコピー機やプリンターを減らし、タブレットやiPadを使いこなせば、コストの削減や情報化の推進で効率よく業務が遂行できる。

近い将来、在宅勤務も可能になる。意識改革が重要になるなど当局と積極的な意見交換となった。



企画調整局での質疑で